

# 情報提供の内容

## 1. 学校の概要、目標及び計画

### 基本情報

学校名 学校法人 岡山理容美容学園 岡山県理容美容専門学校  
所在地 岡山市北区大元二丁目 6 番 5 号  
連絡先 TEL086-241-2807 FAX086-246-2622  
理事長 岡田 浩明  
校長 西澤 幸司

### 開校の目的

本校は、教育基本法及び学校教育法並びに理容師法及び美容師法に基づいて、人間形成を図るとともに、理容美容専門課程においては理容美容の基礎技術や専門知識を修得させ、もって社会の福祉に貢献できる有為な理容師及び美容師を養成することを目的としています。また、日本理容美容教育センターの指導方針に基づきヘアー、メイク、エステ、ネイル等、科学的かつ総合的に理容美容を追求していきます。

### 教育目標

本校の理容科・美容科の学生には、お客様に満足してもらえる優れた技術と、心のこもったサービスを提供する業であることを認識し、次代を担う理容師・美容師として活躍することの願いを込めて、次の教育目標を掲げています。

- ・誠意----すべてのお客様に対して、真心を持って接することができるよう、日常において接客の心構えを持たせる。
- ・熱意----いかなる時でもお客様が満足できる結果が得られるよう、一生懸命頑張れる精神力を養う。
- ・創意----お客様に満足してもらえる必要な知識、技術、快適な施設や設備など、常日頃からよりよいものを創り出そうとする意識を持たせる。

## 沿革

1953年 5月13日	岡山市上伊福 946 番地 旧岡山県庁舎内に開校
5月28日	学校法人の認可を受ける
9月10日	理容師美容師養成施設として厚生省の指定を受ける
1954年 5月31日	厚生省から通信課程併設の認可を受ける
1959年 7月31日	岡山市下中野 537 番地に新築移転する
1977年 7月21日	専修学校の認可を受ける 昼間課程の専門課程及び高等課程と別科通信課程を設置する
1982年 9月13日	新校舎(南館・鉄筋3階)が落成する
1988年 4月 1日	昼間課程を専門課程のみにする
9月 1日	シャンプー実習棟が落成する
1998年 4月 1日	新しい制度に基づく理容師美容師養成施設として厚生省の指定を受ける
6月30日	新校舎(北館・鉄筋3階)が落成する
2002年 2月22日	学生専用駐車場完成
2003年 5月20日	全館の水道水が軟水化となる
2005年 4月 1日	最新視聴覚設備導入(南館)
2006年 3月 3日	最新視聴覚設備導入(北館)
2008年 3月17日	ヘアメイクスタジオ新設
4月 1日	トータルビューティー科新設
2009年 4月18日	エステルーム新設
2010年11月15日	新学生駐車場完成
2013年11月 4日	創立 60 周年記念式典実施
2014年 8月23日	トイレ全館リニューアル
2015年 4月 1日	美容科改組(トータルビューティーコース設置)
2016年 2月19日	文部科学省から職業実践専門課程の認定を受ける
2018年 3月29日	岡山県から理容修得者課程、美容修得者課程、新設の承認を受ける
2020年 1月 7日	空調大規模リニューアル
2020年 4月 1日	修得者課程を修得者コースと名称を改める
2021年 5月21日	全教室にプロジェクター設置
2022年 6月10日	学生ホールにディスプレイ設置
11月 1日	第14回全国理容美容学生技術大会 理容パリエーションセット第2位
2023年 5月31日	北館外壁、屋上リニューアル
10月31日	第15回全国理容美容学生技術大会 理容ライディング第4位
11月13日	創立 70 周年記念式典実施

## 2. 各学科等の教育

### 各学科の修業年限・入学定員等

#### 昼間課程

課程名	学科名	修業年限	入学定員	総定員
理容美容専門課程	理容科	2年	40名	80名
	美容科	2年	140名	280名

### カリキュラム(科目編成・授業単位数・授業内容等)

#### 理容科

課目区分	教科課目	第1学年	第2学年	法定単位数	
		年間単位数	年間単位数	合計	
必修課目	関係法規・制度	1		1	
	衛生管理	2	1	3	
	保健	2	1	3	
	化粧品化学	1	1	2	
	文化論	1	1	2	
	運営管理	1		1	
	理容技術理論	2	3	5	
	理容実習	13	17	30	
必修課目法定単位数 小計		23	24	47	
選択課目	一般教養	1		1	
	デッサン	1		1	
	ライセンスセミナー		2	2	
	カウンセリング	1		1	
	毛髪科学		1	1	
	商品知識		1	1	
	専門	理容総合技術	8	5	13
選択課目法定単位数 小計		11	9	20	
法定単位数 合計		34	33	67	

科目名	内 容	授業方法
関係法規・制度	理容に関する衛生法規と理容師法についての正しい知識を学ぶ	講義
衛生管理	公衆・環境衛生との関連や注意すべき感染症と衛生措置、消毒の意義、具体的な消毒法を学ぶ。	講義
保健	安全で効果的な施術を行うために人体組織や皮膚、毛髪等の構造と機能を学ぶ。	講義
香粧品化学	理容で必要な化学の基礎と香粧品の種類や使用目的、成分について学ぶ。	講義
文化論	理容ファッションと服飾の変遷、造形や色彩の原理とその心理的関わりを学ぶ。	講義
運営管理	将来、理容所を経営する際の科学的な経営管理の方法と、適切な接客について学ぶ。	講義
理容技術理論	器具類の操作・管理方法と衛生的、能率的に技術を行うための理論を学ぶ。	講義
理容実習	顧客の要望に応じた技術の提供ができるよう、基本技術を総合的に学ぶ。	実習
ビジネス教養	理容・美容業界でのビジネスマナー、接客において必要となる一般常識や社会情勢などの教養を幅広く身につける。	講義
カウンセリング	カウンセリングの基礎からコンサルティング、顧客に提案するヘアスタイルまでを学ぶ。	講義
デッサン	理容における造形の意義と応用について学ぶ。デッサンの基礎からヘアデザイン画まで学ぶ。	講義
毛髪科学	健康な頭皮頭髪を保つための知識や施術を学ぶ。	講義
商品知識	毛髪科学で得た知識や施術で、シャンプー剤やトリートメント剤パーマ液などの香粧品との関連を学ぶ。	講義
ライセンスセミナー	国家試験の学科対策として過去問題を解かせ、国家試験合格基準到達を目標にして、各試験科目の理解を深めさせる。	演習
理容総合技術	頭部、顔面、特殊技術を組み合わせて調和のとれた理容技術を完成させるために総合的技術を学ぶ。	実習

美 容 科

課目区分	教 科 課 目		第1学年	第2学年	法定単位数	
			年間単位数	年間単位数	合 計	
必 修 課 目	関係法規・制度		1		1	
	衛生管理		2	1	3	
	保健		2	1	3	
	化粧品化学		1	1	2	
	文化論		1	1	2	
	運営管理		1		1	
	美容技術理論		2	3	5	
	美容実習		13	17	30	
必修課目法定単位数 小計			23	24	47	
選 択 課 目	一 般 教 養 課 目	共	ビジネス教養	1		1
		共	デッサン	1		1
		共	ライセンスセミナー		2	2
		A	カウンセリング	1		1
		A	毛髪科学		1	1
		A	商品知識		1	1
		B	カラーコーディネート		1	1
		B	ブライダル		1	1
	専 門 課 目	A	美容総合技術	8	5	13
		B	メイクアップ	4	1	5
		B	ネイル	3	2	5
		B	エステティック	1	1	2
		B	着付	1	1	2
	選択課目法定単位数 小計			11	9	20
	法定単位数 合計			34	33	67

※ 美容コースの卒業単位は、必修課目 47 単位と選択課目 20 単位（[共][A]）を履修すること。トータルビューティーコースの卒業単位は、必修課目 47 単位と選択課目 20 単位（[共][B]）を履修すること。

科目名	内 容	授業方法
関係法規・制度	美容に関する衛生法規と理容師法についての正しい知識を学ぶ	講義
衛生管理	公衆・環境衛生との関連や注意すべき感染症と衛生措置、消毒の意義、具体的な消毒法を学ぶ。	講義
保健	安全で効果的な施術を行うために人体組織や皮膚、毛髪等の構造と機能を学ぶ。	講義
香粧品化学	美容に必要な化学の基礎と香粧品の種類や使用目的、成分について学ぶ。	講義
文化論	美容ファッションと服飾の変遷、造形や色彩の原理とその心理的関わりを学ぶ。	講義
運営管理	将来、美容所を経営する際の科学的な経営管理の方法と、適切な接客について学ぶ。	講義
美容技術理論	器具類の操作・管理方法と衛生的、能率的に技術を行うための理論を学ぶ。	講義
美容実習	顧客の要望に応じた技術の提供ができるよう、基本技術を総合的に学ぶ。	実習
ビジネス教養	理容・美容業界でのビジネスマナー、接客において必要となる一般常識や社会情勢などの教養を幅広く身につける。	講義
カウンセリング	カウンセリングの基礎からコンサルティング、顧客に提案するヘアスタイルまでを学ぶ。	講義
デッサン	美容における造形の意義と応用について学ぶ。デッサンの基礎からヘアデザイン画まで学ぶ。	講義
毛髪科学	健康な頭皮頭髪を保つための知識や施術を学ぶ。	講義
商品知識	毛髪科学で得た知識や施術で、シャンプー剤やトリートメント剤パーマ液などの香粧品との関連を学ぶ	講義
ライセンスセミナー	国家試験の学科対策として過去問題を解かせ、国家試験合格基準到達を目標にして、各試験科目の理解を深めさせる。	演習
カラーコーディネート	色彩検定に繋がる基礎知識からパーソナルカラーの見つけ方など、接客向け知識を学ぶ。	講義
ブライダル	結婚式のスタイルや衣装、飾りの種類などの基礎知識を学んだ上で、それに関わる職業への理解を深める。	講義
美容総合技術	頭部、顔面、特殊技術を組み合わせて調和のとれた美容技術を完成させるために総合的技術を学ぶ。	実習
メイク	スキンケア、ベースメイクなどの基礎化粧をしっかり理解し、一人一人に合ったメイクアップ技術を身につける。	実習
エステティック	エステティック理論などの学科を学びフェイシャルケア、デコルテマッサージの施術を中心に技術を深める。	実習

ネイル	ネイル検定取得を目標に、ネイルケア、つけ爪、カラーリング ジェルネイル、ネイルアート等ネイリストとしての基本となる 知識・技術を学ぶ。	実習
着付	浴衣、留袖、振袖の着付手順を学び基本的技術を身につける。	実習

### 3. 教職員

教職員数	教員(本務者) 13人
	教員(兼務者) 12人
	職員 3人

### 4. キャリア教育・実践的職業教育

#### インターンシップ

本校では、理容・美容の仕事に夢を抱き、同時に働くことへの喜びや責任感を感じるためには、学校を離れて理容所・美容所で実際に体験することが最も効果的な学習と考えています。そこで、夏期・冬期・学年末休業日を利用して理容所・美容所でインターンシップを実施しています。また、インターンシップで効果的な実践教育を行うために、次のことに留意して指導しています。

- ① 理容所・美容所における衛生管理の状況を知り、その重要性を認識する。
- ② お客様の要望に応じたプロの技術を学ぶ。
- ③ 総合的なサロンワークの技術を身につける。
- ④ 接客の重要性を認識する。
- ⑤ 職場での円滑な人間関係に気を配る。
- ⑥ 研修を通して理容・美容の職業に対する自覚を持つ。

## 5. 教育活動・教育環境

主な学校行事（例年）は次のとおりです。本年度は新型コロナウイルス感染症で実施できていない行事もあります。

- 4月----入学式 オリエンテーション 健康診断 就職ガイダンス
- 5月----スポーツ大会 理容組合コンクール参加 フォトコンクール
- 6月----ヘアデザイン画コンクール 美容組合コンクール参加
- 7月----浴衣コンクール インターンシップ
- 8月----全国理容美容学生技術大会中国地区大会
- 9月----学園祭 改業式
- 10月----修学旅行
- 11月----レクレーダー 着付デモンストレーション 全国理容美容学生技術大会全国大会
- 12月----国家試験ガイダンス インターンシップ
- 1月----校内コンクール
- 2月----校内コンクール 理容師・美容師国家試験(実技試験)
- 3月----留袖コンクール 理容師・美容師国家試験(筆記試験) 卒業式 インターンシップ

上記以外に、課外の活動として、カット、スタイリング、ワインディング、着付などの技術を中心とした練習活動(部)や、ボランティア活動として岡山市の夏祭り、うらじゃ踊り参加とメイクボランティア、障害者支援活動、年少者へのキャリア教育活動、地域サークルへの教室開放などを行っています。また、介護福祉関係校など他種校とのコラボレーションも行っています。

## 6. 学生の生活支援

本校では、学校生活の悩みや授業に対する不安などについて、担任や学年主任、学生指導の担当者が、学生とよく話し合い問題解決に努めています。また、厚生部では定期健康診断や結核健診を始め、岡山県健康づくり財団附属病院と連携し、学生の心身の健康維持に努めています。



## 7. 学生納付金・就学支援

### ◆ 学納金(令和7年度入学生)

#### 1. 入学手続(入学前)

本校の入学試験に合格した方は、入学までに次の学納金を納めてください。

詳しいことは、当該年度の募集要項をご参照ください。

#### 理容科・美容科

費 目	金 額	A O入試	特待生入試	一般11月入試	一般1月入試
入 学 金	200,000円	令和6年10月10日	令和6年11月6日	令和6年12月4日	令和7年2月12日
施設設備整備費	100,000円	免 除	免 除		
授業料等(4月分)	53,000円	令和7年2月12日	令和7年2月12日	令和7年2月12日	
教科書教材等 (トータルビューティコース)	35,000円 (50,000円)				
実習用具等 (トータルビューティコース)	240,000円 330,000円				

#### 2. 授業料・実習費等(入学後)

入学後の学納金は月ごとの納入です。当月分は前月の25日までに納めてください。

#### 月額授業料

費 目	理容科・美容科	
	第1学年	第2学年
授 業 料(月)	30,000円	30,000円
実 習 費(月)	20,000円	20,000円
後 援 会 費(月)	1,000円	1,000円
学 友 会 費(月)	2,000円	2,000円
小 計(1カ月)	53,000円	53,000円
合 計(1年間)	583,000円	636,000円

#### 第2学年の実習用具等

費 目	科	
	理容科・美容科(総合コース)	美容科(トータルビューティコース)
実習用具等(年)	約110,000円	約160,000円

## ◆ 奨学金

本校では、日本学生支援機構の奨学金を取り扱っています。奨学金には大きく分けて、貸与奨学金と給付奨学金があります。奨学金は人物・健康・学力などに優れた学生本人に対して、2年間の学業を支援するためのものです。奨学金を有効に使って自身の目標を達成してください。なお、貸与奨学金は返還義務があります。学費として必要となる適切な金額を借りるようにしてください。

### 1. 貸与奨学金

奨学金の種類	月額(希望する金額を選択できます。)	
第一種奨学金 (利息なし)	自宅通学	20,000円 30,000円 40,000円 53,000円
	自宅外通学	20,000円～60,000円(1万円単位)の中から選択できます。
第二種奨学金 (利息あり)	20,000円～120,000円(1万円単位)の中から選択できます。	
入学時特別増額貸 与奨学金(利息あり)	一時金(1回限り)	
	100,000円～500,000円(10万円単位)の中から選択できます。	

### 2. 給付奨学金

これは、経済的に困難な学生を支援する給付奨学金(原則返還不要)ですが、採用の基準には学力基準や家計基準などがあり、採用されないこともあります。なお、世帯の所得金額に基づく区分により、月額は異なります。

なお、対象者によっては、第Ⅳ区分に該当する場合があります。

区 分	月額		
	第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分
自宅通学	38,300円	25,600円	12,800円
自宅外通学	75,800円	50,600円	25,300円

## ◆ 高等教育の修学支援新制度について

本校は、新しい高等教育の修学支援制度(令和2年4月スタート)の対象校となっています。この制度は、上記の給付奨学金を受けた方が対象者で、本校へ申請することにより入学金や授業料の免除・減額を受けることができます。

なお、対象者によっては、第Ⅳ区分に該当する場合があります。

区 分	第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分
入学金(年額)	160,000円	106,700円	53,400円
授業料(年額)	360,000円	240,000円	120,000円

## 8. 学校の財務

令和5年度

### 資金収支計算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(学)岡山理容美容学園

(単位:円)

収入の部	
科目	決算
学生生徒等納付金収入	209,872,600
手数料収入	7,215,340
寄付金収入	598,000
補助金収入	20,011,246
資産売却収入	0
付随事業・収益事業収入	57,456,240
受取利息・配当金収入	1,242,892
雑収入	6,369,472
借入金等収入	0
前受金収入	88,637,000
その他の収入	30,484,811
資金収入調整勘定	△81,546,000
前年度繰越支払資金	261,877,957
収入の部合計	602,219,558
支出の部	
科目	決算
人件費支出	126,197,964
経費支出	138,537,100
借入金等利息支出	0
借入金等返済支出	0
施設関係支出	0
設備関係支出	1,489,840
資産運用支出	50,000,000
その他の支出	50,043,486
予備費	0
資金支出調整勘定	△16,912,162
翌年度繰越支払資金	252,863,330

支出の部合計	602,219,558
--------	-------------

## 貸 借 対 照 表

令和6年3月31日

(学)岡山理容美容学園

(単位:円)

資 産 の 部	
科 目	本 年 度 末
固 定 資 産	2,536,974,393
有 形 固 定 資 産	719,889,389
特 定 資 産	863,142,063
そ の 他 の 固 定 資 産	953,942,941
流 動 資 産	254,768,408
資 産 の 部 合 計	2,791,742,801
負 債 の 部	
科 目	本 年 度 末
固 定 負 債	1,920,000
流 動 負 債	105,608,766
負 債 の 部 合 計	107,528,766
純 資 産 の 部	
科 目	本 年 度 末
基 本 金	1,487,969,110
繰 越 収 支 差 額	1,196,244,925
純 資 産 の 部 合 計	2,684,214,035
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	2,791,742,801

## 9. 学校評価

1. 令和5年度学校評価・学校関係者評価実施結果報告書-----→別紙報告書参照